

2018年6月期 決算説明会資料

目次

■ I. 決算概要

決算サマリー	1
グラフでみる当社グループの推移・動向	2
当社グループの事業内容、セグメント売上高	4
事業セグメント、事業内訳の状況	5
2018年6月期 決算のトピックス	6
配当について	11
財務状況	12
2019年6月期連結業績予想	13

■ II. 今後の事業戦略

基本戦略	14
将来ビジョン	18

■ III. Appendix

セグメントごとの納入事例・紹介	19
事業拠点	27
注意事項	28

SECURITIES CODE : 6061

株式会社 **ユニバーサル園芸社**

2018年8月22日

I. 決算概要

決算サマリー

要約連結損益計算書、1株当たり指標

■ 業績は景況感回復を背景に増収

■ 主力事業のグリーン事業において、国内の契約件数の増加により増収となりましたが、米国子会社のローリング・グリーンズ・インク社の人材の流出による売上の低迷およびそれに伴う人材確保の費用が増加したこと等により減益となりました。

(百万円)

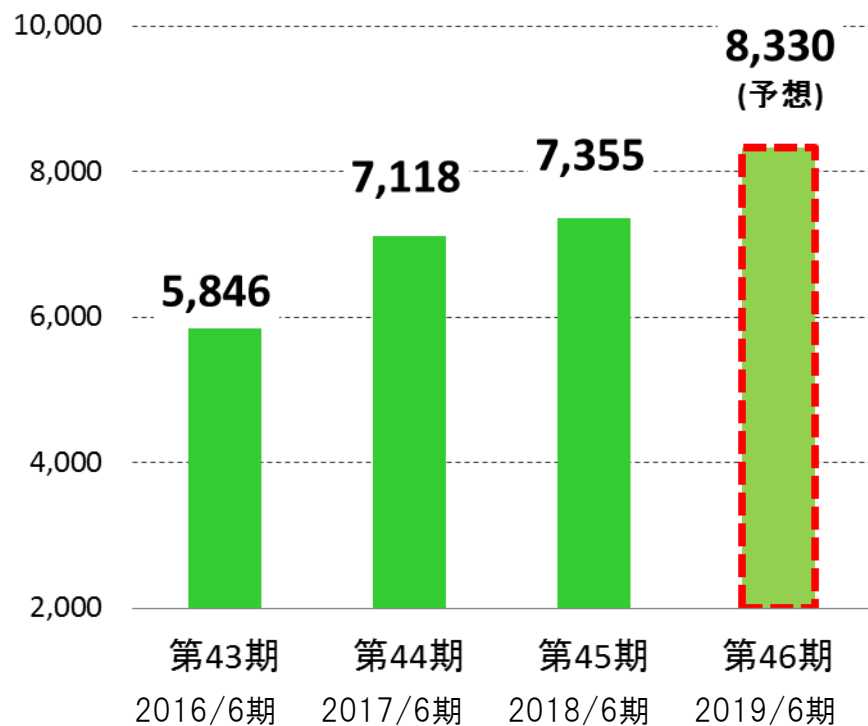
	第44期(2017年6月)		第45期(2018年6月)		
	金額	百分比(%)	(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	7,118	100.0	7,355	100.0	3.3
営業利益	829	11.7	788	10.7	-5.0
経常利益	931	13.1	808	11.0	-13.2
親会社株主に帰属する当期純利益	625	8.8	403	5.5	-35.4
1株当たり当期純利益(円)	130.13		84.01		
1株当たり純資産(円)	1,280.08		1,340.11		

※2017年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

グラフでみる当社グループの推移・動向

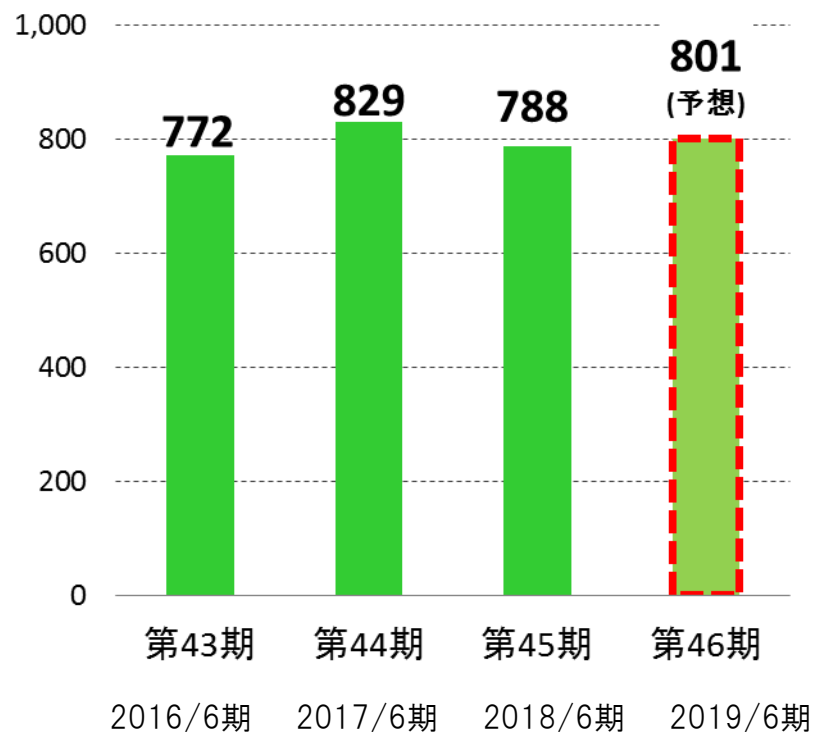
売上高

(百万円)



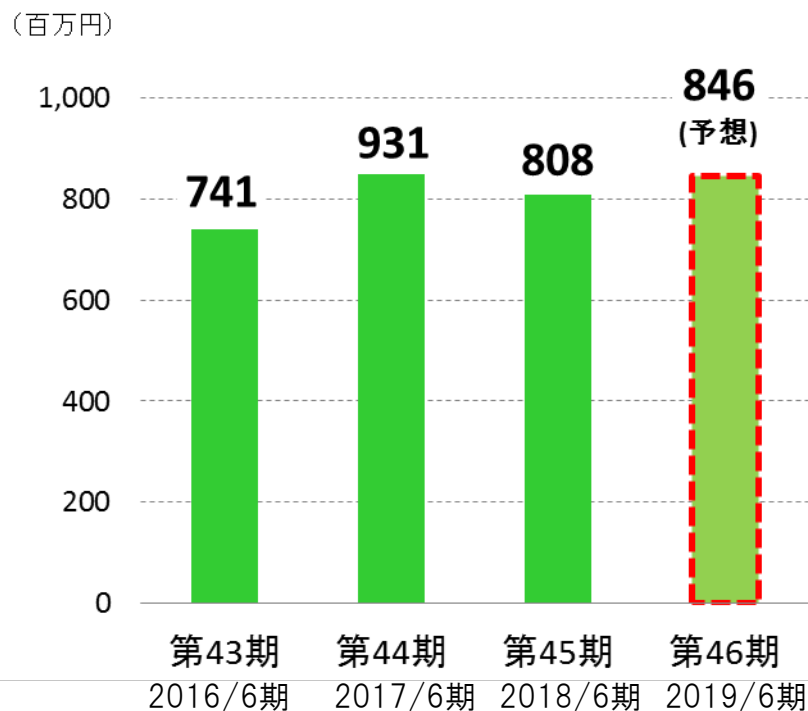
営業利益

(百万円)

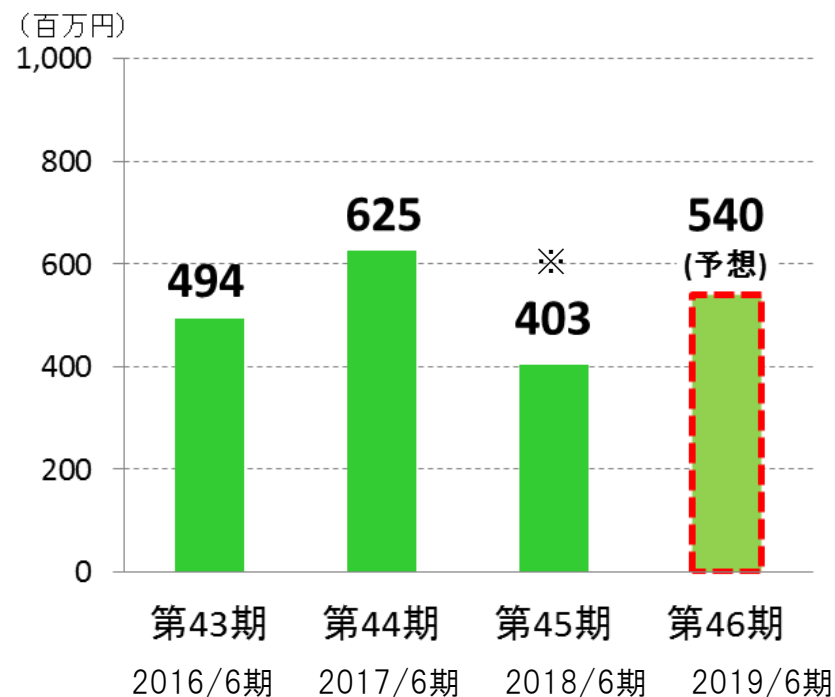


グラフでみる当社グループの推移・動向

経常利益



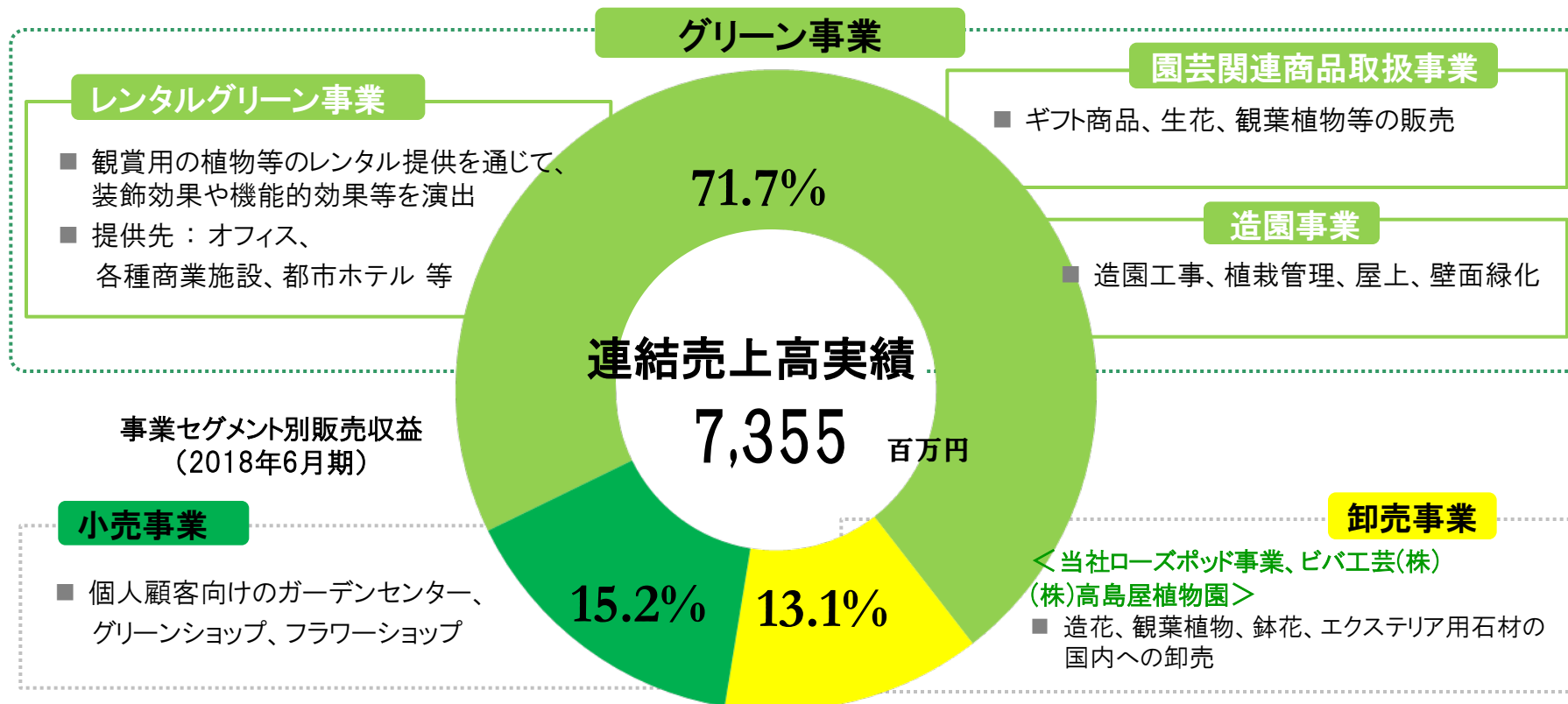
親会社株主に帰属する当期純利益



※第45期の親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の税制改革法の成立に伴い米国子会社において、将来の税負担軽減を見込んで貸借対照表に計上していた繰延税金資産を取り崩すことによる税金費用が増加したことにより減少しております(125百万)。

当社グループの事業内容、セグメント売上高

■ グリーン事業が連結売上高の約72%



※円グラフはセグメント間の内部取引高を含めた比率で表示しております。

事業セグメントおよびグリーン事業内訳(エリア別)の状況

(百万円)

		第44期 (2017/6期)	第45期 (2018/6期)	前期比(%)
グリーン事業	売上高	5,150	5,367	4.2
	利益	768	702	-8.6
卸売事業	売上高	896	977	9.0
	利益	62	94	49.7
小売事業	売上高	1,140	1,138	-0.2
	利益	-26	-31	—

グリーン事業内訳(エリア別)

(百万円)

		第44期 (2017/6期)	第45期 (2018/6期)	前期比(%)
関東エリア	売上高	1,870	2,088	11.6
	利益	424	451	6.4
関西エリア	売上高	1,520	1,587	4.5
	利益	321	372	15.8
海外エリア	売上高	1,759	1,691	-3.9
	利益	21	-122	—

■ 主力のグリーン事業は国内は景況感の回復が進み、契約数の増加や経費削減により増収増益、海外エリアに関しては、米国のローリング・グリーンズ・インク社の人材の流出による売上の低迷およびそれに伴う人材確保の費用が増加したこと等により減益

■ 卸売事業は販売先の拡大と営業強化に取り組んだこと等により増収増益

■ 小売事業は天候不順等により客足が伸びず、引き続き設備投資の償却負担等が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失

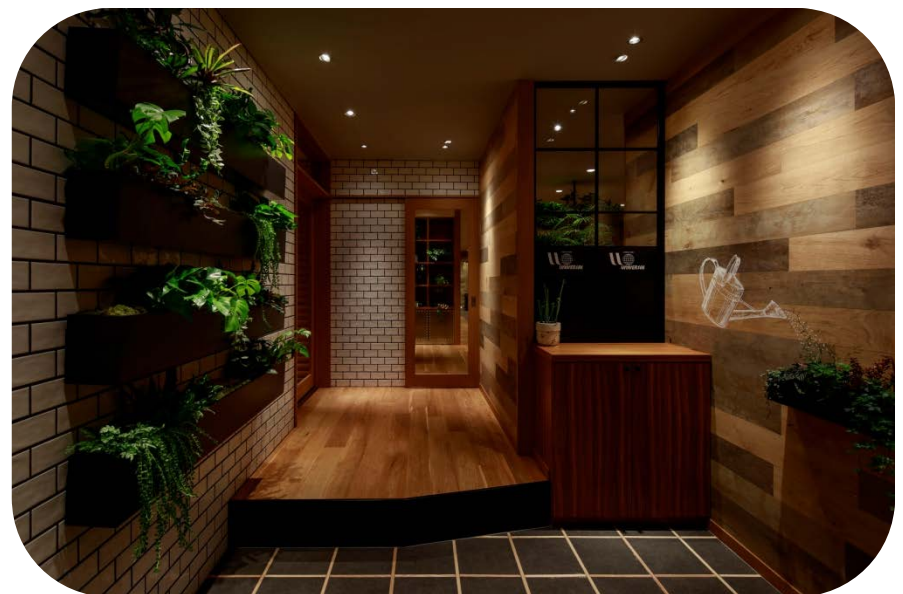
※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2018年6月期 決算のトピックス

①大阪本社改装

◆ 2017年11月に大阪本社(茨木市)を改装しました。オフィスのショールームのような空間設計を施すことで、お客様により最適なお提案を行うことができるようになりました。



2018年6月期 決算のトピックス

②UFO (UNIVERSAL FARM OPERATIONS) 発足

◆ 2017年11月より、当社の技術力、信頼力を活かし、あらゆるお客様の個性にトータルでプロデュース、デザイン、施工できるプロフェッショナルチームとして発足しました。



TEAM EAST



TEAM WEST



2018年6月期 決算のトピックス

③PET CAFE OPEN

◆ 2017年12月より大阪(茨木市)のFARMAR'S KITCHEN(カフェ)内にペット連れのお客様専用テラス PET CAFEがOPENしました。



④文化賞受賞

◆ the Farm UNIVERSAL CHIBAは、2017年12月に千葉市都市文化賞2017の景観広告部門 優秀賞を受賞しました。(主催 千葉市)

2018年6月期 決算のトピックス

⑤ うめきた「ガーデンフラワーコンテスト」受賞

◆ 2018年2月に大阪の「うめきたガーデン」で開催された「全日本フラワーガーデンコンテスト in うめきたガーデン」のプロ部門で2作品が受賞しました。



準グランプリ 産経新聞賞
題名「タイムスリップ」
UNIVERSAL FARM OPERATIONS 作



リョーケン賞
題名「空想の島」
the Farm UNIVERSAL 作

2018年6月期 決算のトピックス

■ ⑥M&A シンガポール進出

- ◆ 2018年6月にMIRAGE GREEN Pte Ltd(ミラージュグリーン社)の発行済株式の75%を取得し、子会社化しました。

2018年3月期 売上高

(参考レート) 1SG\$ = 80円

	売上高(千SGドル)	売上高(億)
ミラージュグリーン社	7,001	5.6

※ミラージュグリーン社の子会社化は2019年6月期に寄与

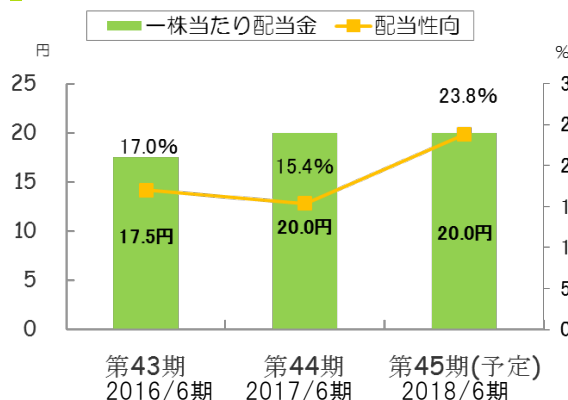


配当について

配当総額の推移

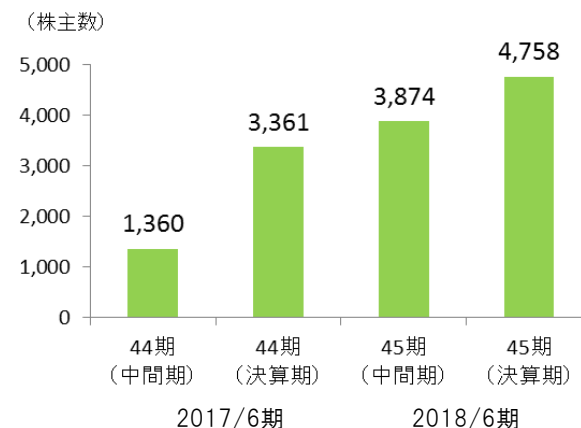
2015年6月期	72,072,120円
2016年6月期	84,082,425円
2017年6月期	96,092,460円
2018年6月期	96,091,560円(予定)

配当金の推移



※一株当たり配当金は分割を考慮した上で、遡及修正しております。

株主数の推移



配当方針

内部留保の確保等により財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主への長期的な利益還元を第一とし、継続的かつ安定的な配当を実施

配当水準については、安定的な株主還元を主軸に、利益水準や内部留保の増大にあわせて適宜引き上げを検討

株主優待制度の拡充

2017年12月より、本決算に加え、毎年第2四半期期末(12月31日)現在の当社株主名簿に記載または、記録された1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象に当社オリジナルクオカード1,000円分を進呈しております。

基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬
12月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分	3月上旬

財務状況

連結貸借対照表

第44期 決算期(2017/6月末)

(百万円)

流動資産	3,242	流動負債	781
(うち手元流動性)	2,149	固定負債	496
固定資産	4,185	負債計	1,278
(うち投資その他資産)	1,759		
		純資産計	6,150
総資産計	7,428	負債・純資産計	7,428

82.8%

第45期 決算期(2018/6月末)

(百万円)

				前期末比(%)	
流動資産	3,584	10.5	流動負債	896	14.7
(うち手元流動性)	2,354	9.5	固定負債	462	-6.8
固定資産	4,215	0.7	負債計	1,359	6.3
(うち投資その他資産)	1,523	-13.4			
			純資産計	6,441	4.7
総資産計	7,800	5.0	負債・純資産計	7,800	5.0

82.6%

※手元流動性は、当社連結貸借対照表の流動資産項目のうち、現金及び預金並びに有価証券の合計額を記載しております。

2019年6月期連結業績予想

業績予想のポイント

- レンタルグリーンシェア拡大に注力
- ローリング・グリーンズ・インク社の経費削減
- レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注拡大
- 経費削減等による収益力強化

(百万円)

	第45期(2018/6期)		第46期予想(2019/6期)		
		百分比(%)	百分比(%)	前期比(%)	
売上高	7,355	100.0	8,330	100.0	13.2
営業利益	788	10.7	801	9.6	1.7
経常利益	808	11.0	846	10.2	4.7
親会社株主に帰属する当期純利益	403	5.5	540	6.5	33.9
1株当たり当期純利益(円)	84.01		112.49		
1株当たり配当金(円)	20.00		20.00		

基本戦略

1 グリーン事業の収益基盤の強化

■ 多数の幅広い顧客による支持→顧客満足度の向上より企業価値の向上

■ レンタルグリーンシェア拡大

レンタルグリーン市場における当社の国内シェア・・・推計5.5%程度※

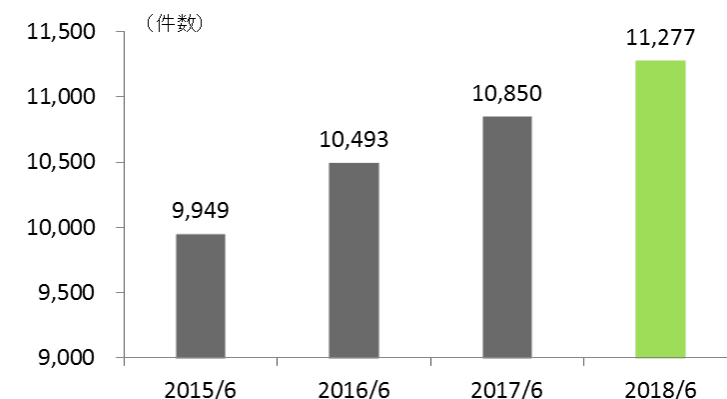
⇒シェア拡大余地は大きい

■ 2018年8月より東京都江東区に東京中央支店
を開設



外観 イメージ図

(参考) レンタルグリーン契約件数の推移(国内)



※当該推計値は矢野経済研究所「フラワー & グリーン市場に関する調査結果2012」のグリーン市場におけるリースレンタル業408億円に対する、2018年6月期の当社単体売上高における、レンタルグリーン売上高2,258百万円の割合を記載しております。

基本戦略

2 レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、装飾、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注

→相乗効果による事業拡大

3 ネット通信販売拡大

→今後インターネットの活用がより人々の生活に身近となり発展してゆく市場の流れ

→2018年10月、ネット通信販売において国内では先駆者的な存在である園芸ネット株式会社を子会社化予定(参考 2017年12月 売上5.4億)

4 小売事業へのチャレンジ

■ フLOWER、ガーデンショップの店舗数を拡大 ➡ 新規出店に加え、M&Aも選択肢

■ ガーデンセンター

「the Farm UNIVERSAL」

(ザ ファーム ユニバーサル)

- ・大阪本社
- ・千葉



(ザ ファーム ユニバーサル 大阪本社)

■ フラワーショップ

「Fleur Universelle petit」

(フルール ユニヴェセール プティ)

- ・東急プラザ蒲田店

「Fleur Universelle」

(フルール ユニヴェセール)

- ・広尾店

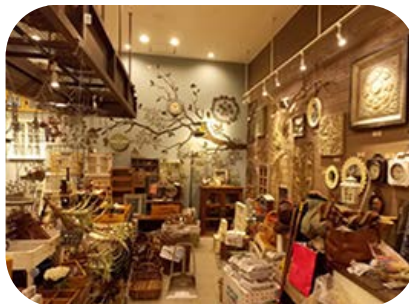


(広尾店)

■ グリーンショップ

「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」

- ・ランチ神戸学園都市店
- ・フォレオ大津一里山店
- ・イオンモール四條畷店



(ランチ神戸学園都市店)

「the Farm UNIVERSAL 銀座」

(ザ ファーム ユニバーサル)

■ カフェ

「FARMER'S KITCHEN」

(ファーマーズ キッチン)

- ・大阪本社
- ・千葉

「Les Grands Arbres」

(レ・グラン・ザルブル)

- ・広尾店



(ファーマーズキッチン 大阪)

5 海外事業の展開

2007年12月 上海進出(上海寰球園芸産品租賃有限公司)

2015年4月 ワシントンD.C.進出 ローリング・グリーンズ・インクを子会社化

2016年2月 セッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インクより、2支店を事業譲受

2016年5月 プレミア・プラントスケープス・エルエルシーより、
植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を譲受

2018年6月 シンガポール進出 ミラージュグリーン社を子会社化



将来ビジョン

日本一の園芸会社

2021年6月期に

売上

連結売上高 100億円

利益

連結経常利益 13億円

成長

毎年2ケタ成長を目指す

事業拡大

新商材・新事業

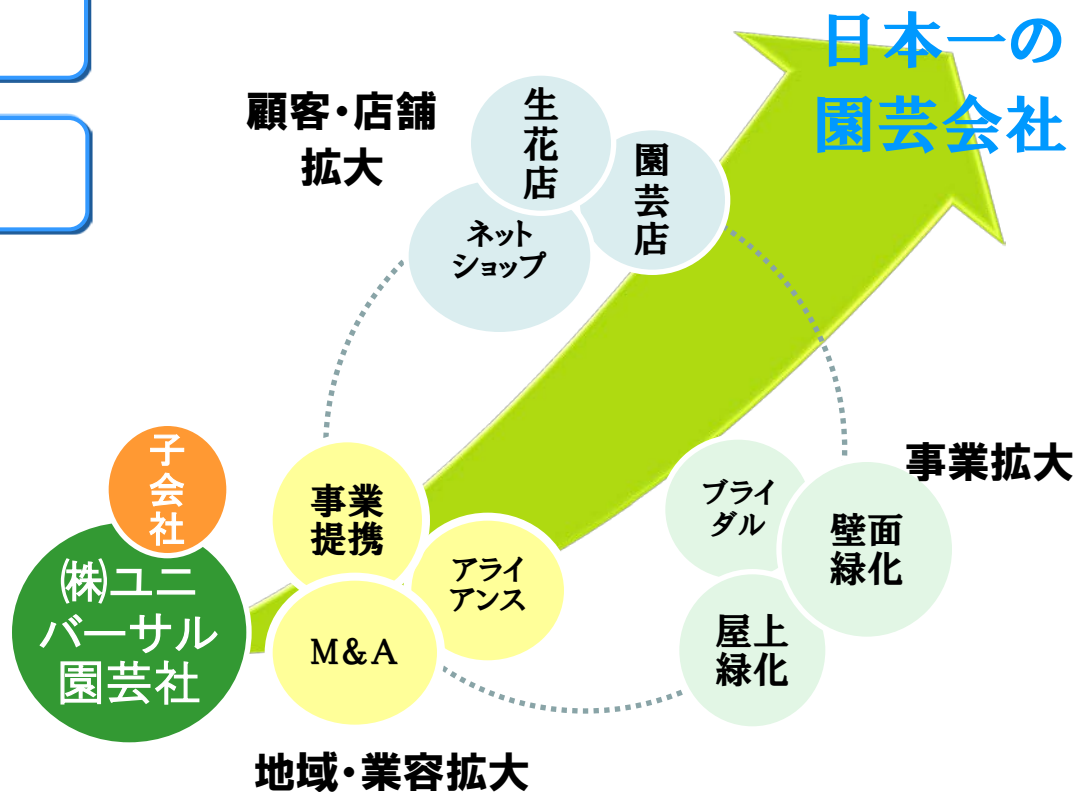
地域拡大

国内主要都市・海外

人材育成

技術力・サービス力向上

事業戦略推進のイメージ



セグメントごとの納入事例・紹介



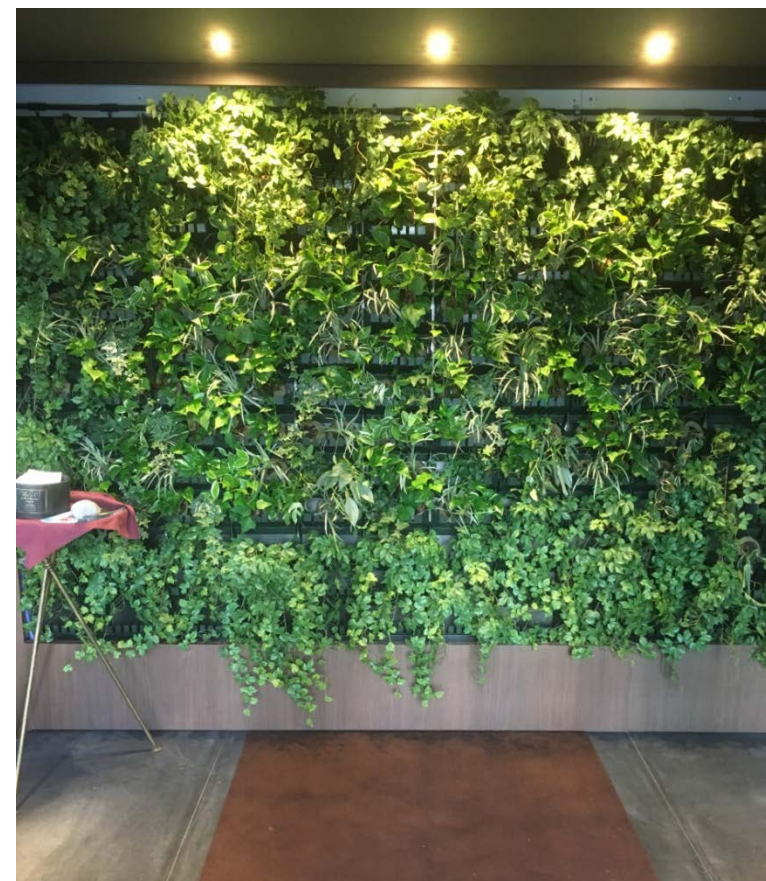
グリーン事業（レンタルグリーン） オフィス、エントランス他

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン）室内壁面装飾、アートフラワー

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（外構植栽、屋上緑化、壁面緑化）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（季節商品（クリスマス等）、イベント、ブライダル事業）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（造園事業、ネット事業、ギフト事業）

セグメントごとの納入事例・紹介



小売事業 (the Farm UNIVERSAL FARMAR'S KITCHEN)

セグメントごとの納入事例・紹介



小売事業（花と緑と雑貨のお店 りこしえ+ Fleur Universelle）

セグメントごとの納入事例・紹介



株ディスプレイからインテリア、ブライダル、ギフトまで
お応えします。

ORIGINAL FLOWER
VIVA

Flower
のご提案

商品案内 ITEM INFO	コンセプト CONCEPT	会社案内 PROFILE	リンク LINK	コンタクト CONTACT
-------------------	------------------	-----------------	-------------	------------------

美しく、可憐に、あざやかに、ナチュラルであれ！
オリジナルの造花にこだわり続け30余年・・・
ビバ工芸は今も生花越える造花を追い求めています。

1975年の創業以来、ビバ工芸株式会社の造花は「オリジナル」にこだわり続
ています。

フラワー
Flower

グリーン
Green

卸売事業(高島屋植物園、ビバ工芸)

事業拠点

東京・名古屋・大阪の3大都市圏を中心としたサービス提供網を構築

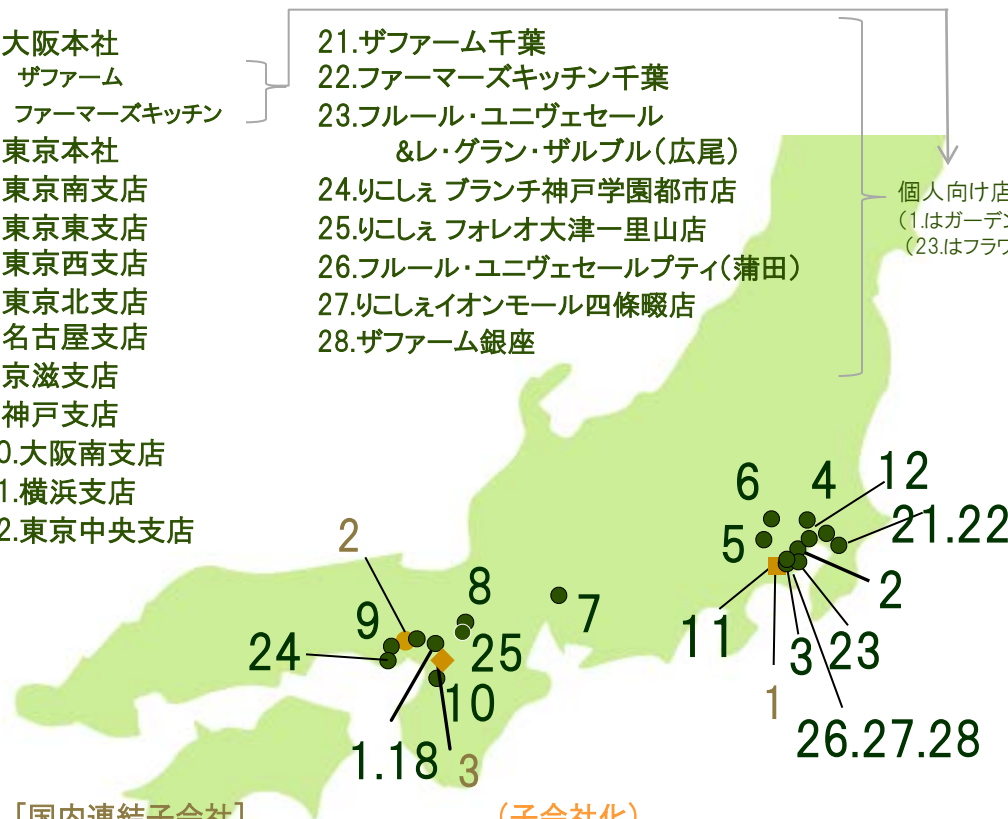


大阪本社

- 1.大阪本社
ザファーム
ファーマーズキッチン
- 2.東京本社
- 3.東京南支店
- 4.東京東支店
- 5.東京西支店
- 6.東京北支店
- 7.名古屋支店
- 8.京滋支店
- 9.神戸支店
- 10.大阪南支店
- 11.横浜支店
- 12.東京中央支店

- 21.ザファーム千葉
- 22.ファーマーズキッチン千葉
- 23.フルール・ユニヴェセール
&レ・グラン・ザルブル(広尾)
- 24.りこしえ プランチ神戸学園都市店
- 25.りこしえ フォレオ大津一里山店
- 26.フルール・ユニヴェセールプティ(蒲田)
- 27.りこしえイオンモール四條畷店
- 28.ザファーム銀座

個人向け店舗
(1.はガーデンセンター&カフェ)
(23.はフラワーショップ&カフェ)



[海外連結子会社]

- 1.上海寰球園芸産品租賃
有限公司<グリーン事業>
(2007年12月設立)
- 2.ローリング・グリーンズ・インク
<グリーン事業>
(2015年4月子会社化)
- 3.上海香奇園芸有限公司
<グリーン事業>
(2017年3月設立)
- 4.ミラージュグリーン
<グリーン事業>
(2018年6月子会社化)

[国内連結子会社]

- 1.ピバ工芸(株)<卸売事業> (子会社化) 2009年11月
- 2.(株)花守花の座<小売事業> 2013年2月
- 3.(株)高島屋植物園<卸売事業> 2015年4月



東京本社

注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ユニバーサル園芸社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2018年8月22日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資に際しての最終的なご判断は、投資家ご自身がなさるよう、宜しくお願い致します。